

## (別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田市役所 商工観光部 商工港湾課
実習期間	平成 29 年 8 月 30 日 ～ 平成 29 年 9 月 3 日
学生氏名	高橋 利嘉
実習プログラム	<p>一日目 午前 商工港湾課の概要説明 中心市街地、商店街振興について 午後 雇用対策事業について</p> <p>二日目 午前 生活交通事業の概要説明 午後 エクセル 観光モデルコース思案</p> <p>三日目 午前 企業立地及び産業振興事業の概要説明 午後 バス路線再編に関して</p> <p>四日目 午前 運営マニュアル確認 午後 小道具作成</p> <p>五日目 午前・午後 イベント運営</p>
学び・気づき (300 字程度)	<p>私は、今回の五日間のインターンシップで様々な係で多くの体験をさせていただくことができた。特に、酒田市役所が町や商店街をどのように活性化させていくのか、現状何が課題になっているかなど具体的な内容を聞くことができたことやそのことについて考える機会を与えてくださったことがとてもいい体験になった。また、実際に様々な会議を見学させていただき、地域住民の生の声を聞き、市役所の中だけではわからないことなどを知ることができたのでとてもいい機会に恵まれた。現地へ赴くことでデータではわからないリアルな事情を聞くことができたので、誠実に耳を傾けることが大切であることがわかった。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>事前訪問不要といった流れでインターンシップを行ったので初日は不安で、質問をする余裕や声の小ささなど自信の無さが目立っていたことを自分自身痛感した。私生活では声を張り、初対面の方と円滑に事を進められるよう積極的に行動するよう努力していきたい。また、社会人との会話の壁というものを時折感じたのでアイスブレイクの技術も兼ねて慣れるようにしたい。</p>
インターンシッ プをして気づい た、実習先の魅力 (300 字)	<p>酒田市役所商工観光部商工港湾課の魅力は、街を本気で活気づけるために努力している課であり、必然的に地域住民との関わりが深くなります。住民の話を聞き、問題を解決します。地域との関わりを実感しながら仕事をしたいという方にはおすすめのインターンシップ先です。商工港湾課では様々な種の仕事を体験、見学させていただき自身の理想像を固めることや将来のためのモチベーションを高めることができました。質問にも事細かにわかりやすく答えてくださった優しい方々ばかりでした。</p>
写真 (1～3 点)	

## (別紙 12)

## 大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

実習企業・機関	酒田市役所 市民部 まちづくり推進課
実習期間	平成29年 8月28日 ～ 平成29年 9月1日
学生氏名	遠藤駿太
実習プログラム	8/28 全体オリエンテーション、空き家対策業務同行 8/29 交通安全教室補助、防犯灯設置事業作業補助 8/30 防犯灯設置事業作業補助、地域コミュニティ振興会訪問 8/31 市民交流推進室での研修 9/1 地域おこし協力隊とのディスカッション、富士見地区交通安全家庭訪問指導参加
学び・気づき (300字程度)	まちづくり推進課の業務は非常に多様であり、実習でも日々全く異なる業務に同行した。そんな中、課全体に共通していたのは市民との密接な距離感であり、この5日間においても市民の方々と交流のない日はなかった。課題を発見し、それを解決してゆくためには何よりも「自分自身の耳で聞き、目で見えて直接確かめる」ことが重要であり、そうしなければ問題に直面している人々の認識とズレが生じてしまう。そのズレが存在する限り問題解決は出来ない。ズレを生じさせないための直接的な課題発見と問題解決のプロセスを現場で学ぶことができたのが、本実習の目的に基づいた最大の成果だったといえる。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	本実習中知り得たことで最も今後活かしていかなければならない点はやはり、元来の目的としていた「課題発見と問題解決の現場における実際のプロセス」である。現場でどのようにして問題を発見し、どのように対処すべかを考えること、あるいは問題の発生をどのようにして未然に防ぐのか、その実状を知ることが出来た。私が本実習で知り得た「現場からの目線」を自分自身の確かな強みとして昇華していくことが本インターシッププログラムでの学びの結実となると考える。
インターンシップをして 気づいた、実習先の魅力 (300字)	まちづくり推進課の大きな魅力は学び・気づきの中で挙げた「市民との密接な距離感」があるだろう。市役所の最前線とも言えるまちづくり推進課は、外回りや電話相談など様々な形で市民の方々と関わりをもっている。多様な業務と地域との直接的な交流を経験しながら、市全体の細かな変化、発展を現場で目にできるのは行政に携わる者としては、大きな達成感や充実感をえられるのではないだろうか。もちろん、市民の要望になかなか答えられないことや、各部署や支所との連携など、難しい部分も多くあるだろう。だが、日々そう言った経験を積み重ねていくことは人間的に大きな成長の機会となるはずであると実習を通して感じた。
写真 (1～3点)	

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田市役所子育て支援課
実習期間	平成 29年 8月 28日 ~ 平成 29年 9月 01日
学生氏名	小川雛
実習プログラム	8月28日(月) 8:25 朝会   8:30 オリエンテーション   9:50 11:20 窓口対応の見学   12:00 13:00 子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」への訪問・見学   14:30 児童虐待ケースの資料を読む   16:30 日誌記入  8月29日(火) 8:25 朝会   8:30 8:50 受付会議   (受け付けた相談内容が虐待なのか判断する会議) 9:15 10:10 平田子育て支援センター、平田保育園の園児とのふれあい・見学   11:30 13:30 ケース検討会議   (受けた相談内容を多職種の人達で検討する会議) 14:20

15:00	児童扶養手当現状届の記入について
15:10	児童扶養手当現状届の受付を見学
15:30	日誌記入
8月30日(水)	
8:25	朝会
8:30	
8:40	酒田市病児・病後児保育事業登録(保育児)の確認(パソコン使用)
10:25	酒田市病児・病後児保育事業登録(小学生)の確認(パソコン使用)
12:00	
13:00	パソコンにて情報処理
14:00	交流ひろばにて食育に関する会議の見学
	交流ひろば内の見学
15:00	
16:00	栄養について学ぶ
17:00	
8月31日(木)	
10:00	働き方と預け先のことについて学ぶ
11:00	仲西さんの手伝い
12:00	
13:00	市民健康センターにて3ヶ月検診、ブックスタートの見学
15:15	保育料の変更についての通知を渡す場面に同行
	(うえだこども園、若草幼稚園、酒田ふたば園)
16:45	
9月1日(金)	
8:25	朝会

	<p>8:30 受理会議  (受付会議の次の段階で虐待かどうか確定する)</p> <p>8:50</p> <p>9:15 交流ひろばでふれあいサロン、作業の手伝いなどを体験</p> <p>11:15 プレイランド(絵本の読み聞かせ、手遊びなど)の手伝い</p> <p>11:40 作業の手伝い(エプロンのアイロン掛け、装飾作りなど)</p> <p>12:00</p> <p>13:00 作業の続き</p> <p>14:15 はあとほっとコンサートのダンスの練習  マスコットキャラ、もしえのん、あののんの着ぐるみ試着の手伝い</p> <p>16:30</p>
<p>学び・気づき  (300字程度)</p>	<p>実習の中で受付会議やケース検討会議など、実際の連携の場面を見学し、お互いが細かな情報を共有することで信頼関係が形成されているのだと感じた。また他職種であっても、実際に対面して会議を行っていることでお互いに相手のことを知り情報共有がしやすいのではないかと思った。しかしその場面において、知識や技術、経験がとても重要だと改めて感じた。専門的な知識はもちろんのこと、それに対する技術や地域性などをしっかり把握していることが必要だと思った。福祉についての勉強ももちろんだが、社会についての情報も自分には足りていないと感じた。大学での授業はもちろんだが、もっと地域に出て社会勉強することも必要だと改めて感じた。</p>
<p>今後に向けた  抱負  (200字程度)</p>	<p>今回のインターンシップで自分の視野の狭さやマネジメント能力、表現力の足りなさを感じた。実際の現場に出て実習を行うということが初めてだったため、不安だったのもあり周りをよく観察するという事が上手く出来なかった。自分の意見を求められても聞くことに精一杯でうまく言葉にできなかつたり、自由に見学して施設を利用している人に声をかけてみてと言われたときに、自分から積極的に行動することが上手くできなかった。それは自分の経験不足ももちろんだが、普段から余裕をもって考えることが必要なのではないかと思った。自分だけでなく、もっと周りにも目を向けて考える力を身に付けていきたいと思う。</p>
<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力  (300字)</p>	<p>今回のインターンシップで初めて酒田市役所を訪れたが、市役所で行っている仕事内容や活用している制度、取り組みなど知らないことが多くあった。事前学習にて大まかなことは調べていたが、文面で見ると実際に活動を見学するとは全く違った。市民の方々からこういった声があるため、この制度を活用して取り組んでいる。以前までは行っていなかったが、子育てする親に向けてこういった取り組みもプラスして行っている。などまさに市民によりそって取り組んでいるという姿を間近で見ることができた。具体的な例をあげると、子育て世代包括支援センター「ぎゅっと」や交流ひろば、ファミリー・サポート・センターなどがある。どれも子育てをしている親へ向けての取り組みである。妊娠から出産、子育ての様々な相談窓口として活用されている「ぎゅっと」、子ども達の遊びの場となる交流ひろば、地域のボランティアの方と絵本の読み聞かせや子育てのサポートをするファミリー・サポート・センターなど積極的に地域と共に寄りそって活動しているところに酒田市役所の魅力を感じた。</p>

写真 (1~3点)

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田市役所 子育て支援課
実習期間	平成 29 年 8 月 28 日 ~ 平成 29 年 9 月 1 日
学生氏名	島田 夏綺
実習プログラム	実習 1 日目 8 月 28 日(月) 8 時 35 分 ミーティング 11 時 00 分 児童扶養手当の相談窓口の補助 保険証コピー 12 時 00 分 休憩 13 時 00 分 酒田市子育て世代包括支援センター ギゅっと 訪問 14 時 00 分 酒田市児童虐待ケース 17 時 15 分 退勤  実習 2 日目 8 月 29 日(火) 8 時 25 分 朝会 8 時 50 分 虐待相談の受付会議 10 時 10 分 平田子育て支援センター 平田保育園の見学 園児とのふれ合い 12 時 00 分 休憩 13 時 30 分 ケース検討会議 15 時 00 分 児童扶養手当現状届の受付について 15 時 10 分 児童扶養手当の受付 17 時 15 分 退勤  実習 3 日目 8 月 30 日(水) 8 時 25 分 朝会 8 時 40 分 病児・病後児保育事業登録者名簿の確認(PC 操作) 住所変更などの記入 小学生も含む 12 時 00 分 休憩 13 時 30 分 病児・病後児保育事業登録者名簿の確認(PC 操作) 14 時 00 分 交流ひろば 食育講座(親子クッキング)の打ち合せに同席 15 時 00 分 保育園入園の紹介

	<p>15時35分 保育園に配るポスターの準備  16時00分 管理栄養士の方による食事についての講義  17時15分 退勤</p> <p>実習4日目 8月31日(木)  8時25分 朝会  10時00分 子育てにおける働き方と預け先のこと  11時45分 封筒の補修  12時00分 休憩  13時00分 市民健康センターにて  3ヶ月検診  ブックスタート(本の読み聞かせ、配布)  17時15分 退勤</p> <p>実習5日目 9月1日(金)  8時25分 朝会  8時30分 虐待かどうかの決定会議に同席  9時15分 交流ひろば  エプロン・タオルのアイロン掛け  11時15分 プレイランド  絵本の読み聞かせ  手遊び  12時00分 休憩  13時00分 アイロン掛け  14時15分 はーとほっとコンサート ダンスの練習  もしえのんとあののんの試着手伝い</p>
<p>学び・気づき  (300字程度)</p>	<p>酒田市役所子育て支援課では、事前学習で調べた事業内容だけでなく、子供とその家族が暮らしやすいように医療費の助成や保育料の負担を軽減し、酒田っ子すくすくプラン施策を7つ掲げ、子供を産み育てやすい環境作りに力をいれているということに気付いた。また、交流ひろばにてプレイランドなどのお手伝いに伺った際には、お子さんを連れとお母さん方と交流する機械があり、交流ひろばをよく利用している方が多く、子供たちも毎月のイベントや遊びを楽しみにしていると知り、住民の方にとって身近で相談しやすい環境が整っていると身を持って感じた。このインターンシップを通して、子育て支援において、行政の立場から多機関・多職種と連携しながら、ひとりひとりに合った支援を行っていると思った。</p>
<p>今後に向けた  抱負  (200字程度)</p>	<p>実際の行政における子育て支援の現場を見ることができ、さらに社会福祉士資格取得を目指したいと強く感じた。そのためには、子育て支援に置ける今後の課題を学んでいくとともに、社会福祉における基礎的な学びや相談援助の理論と技術を身に付けて行かなければならないと思う。また、児童ボランティアでの活動においても子供達との関わりを通して児童福祉の現場とどのような相談援助や支援をしていくべきかという社会福祉士の視点を持って考えて行きたい。</p>



インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	酒田市役所子育て支援課でインターンシップを行い、保育園や児童相談所、学校・教育機関、医療機関との連携を取り、情報共有を行ってどのような支援をしていくべきか、考え協力し合う体制ができていると感じた。また、子育て支援課はお母さんとお子さんが出産、子育てにおける悩みを気軽に相談できるように交流ひろばや各機関とともに手厚い支援が行われていると感じ、酒田市は子育てのしやすいまちであると思った。また、児童虐待における問題についても検討会議を行うなど、こどもの安全を守ることを第一に考え、その支援に携わることが出来ることに魅力を感じた。
写真 (1~3点)	

## (別紙12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田市役所健康福祉部福祉課
実習期間	平成29年8月28日 ～ 平成29年9月1日
学生氏名	齋藤愛
実習プログラム	<p>1日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉課の業務概要説明</li> <li>・地域福祉係の業務概要説明</li> <li>・民生委員会長会傍聴</li> <li>・職場体験(事務)実習</li> </ul> <p>2日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・発達支援室の業務概要説明</li> <li>・職場体験(事務)実習</li> <li>・育ちのサポート事業同行</li> </ul> <p>3日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい福祉係の業務概要説明</li> <li>・職場体験(事務)実習</li> </ul> <p>4日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉援護係の業務概要説明</li> <li>・生活保護ケース訪問</li> </ul> <p>5日目</p> <p>酒田市社会福祉協議会で実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練に参加</li> <li>・社会福祉協議会の業務概要説明</li> </ul>
学び・気づき (300字程度)	<p>私は公務員志望だったため市役所のインターンシップを希望したが、実際にインターンシップを経験してみて今まで漠然としていた公務員の仕事が以前より具体的になった。例えば、酒田市役所の福祉課では3つの係と発達支援室からなっているが、それぞれの係で担当していることが全然違うということが分かった。現場では市民だけでなく施設関係者とも話をすることが多いということが分かった。保育園や幼稚園の先生を対象とした研究会では、職員の方が1時間程度一人で場を仕切りながらテーマについて話をしていて、分かりやすく伝える力やプレゼンテーション力も重要だと感じた。</p> <p>窓口業務では申請や相談に来た市民に対応するために覚えなくてはならない法律や制度がたくさんあり、自主的に勉強をしている職員の方も多いいことを知った。そしてそのように知識がなければ市民にきちんとしたサービスが提供できないと思った。</p>
今後に向けた 抱負 (200字程度)	<p>インターンシップを経験したことで公務員の仕事について分かった部分がとても多かった。そのため、他に気になっている業界などについても実際にインターンシップに参加したり、働いている人の話などを聞いたりして具体的な仕事内容を調べてみようと思った。</p> <p>今後の改善点としては、あいさつの声が小さかったり外部へ同行させていただいた時にタイミングが分からず職員の方に紹介されるまで自己紹介ができなかったりしたので、これからの生活において大人と関わるのであれば以上の点を意識して改善していきたい。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>酒田市役所福祉課では、市民のために自主的に勉強をしたり、できる限り市民の力になろうとがんばっている職員の方が非常に多いことが魅力だと思う。例えば、耳の不自由な来訪者のために手話を勉強している方がいたり、研修に参加したりして業務に関する勉強をしている方も多いと聞いた。また、家族による虐待で福祉課による対応が難しいケースがあったそうだが、その被虐待者や虐待を行っている家族、家族の関係者について聞き取り調査などをし、その後被虐待者を家族から隔離することができたという話を聞いた。このように対応が難しくても何かできることはないかと対象者や法律、制度をよく調べたり動向に注意を払い、助けが必要な市民にのたためにがんばっている職員の方がたくさんいると感じた。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	

## (別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田市役所・税務課
実習期間	平成 29年 8月 21日 ～ 平成 29年 8月 25日
学生氏名	西野公貴
実習プログラム	21日(固定資産税第1係) 22日(税制係) 23日(市民税係) 24日(償却資産係・納税課) 25日(固定資産第2係) それぞれ最初に講話を受けた後に業務体験
学び・気づき (300字程度)	今回は新規職員も受けるような内容の話もしていただいて、税の知識としては簡単な概要までは大体押さえることができたと思う。市役所では数年で異動があるためにその都度新しいことを覚えて大変なように感じていた。しかし、異動しても前の経験が生きることもあると職員の方がおっしゃっていた。事前の想定と経験とであらゆる例に対応できているのだと感じた。業務を体験していく中で、外出しての業務や力を使う業務をかなりあるようだった。問い合わせの対応や固定資産の評価など気を遣いながらのものもあり、知識や柔軟性だけでなく体力もいると思った。業務の中には、1年に1回の締め切りだが、多くの情報を相手にしてマネジメント力がいると感じた。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	インターシップ中に様々な事案に対応していく様子を目にして課題発見力と問題解決力は私にはないものだと感じたので幅広い視点を持てるようにしたい。今回感じたことは様々な体験から身になることが多いということで、職員の方も今のうちにできることをやったほうが良いとおっしゃっていた。今回の経験を踏まえてあらゆるものに触れていきたい。
インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)	役所はかたいイメージを持つてしまうこともあるが、かたさだけでなく職員の方の距離感もよく、情報共有や意見交換などのコミュニケーションが多くなされていた。ミスをしないうという緊張感と働きやすさという点での距離感がよいところだった。インターシップの環境としても過ごしやすく充実した実習になった。また、普通は自分自身に直接関わるものしか目につかないがインターンシップを通してあまり目にしないことの一部を知ることができ、課税というお金を払わなければならないとよく思わない人もいるかもしれないが改めて生活をよりよくしてくれているところということを再認識した。

写真 (1~3点)



## (別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	酒田市役所 企画振興部 政策推進課
実習期間	平成 29 年 8 月 18 日 ～ 平成 29 年 8 月 23 日
学生氏名	藤田 優美
実習プログラム	<p>1 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所庁舎案内</li> <li>・ 総合計画についての学習</li> <li>・ 風車現場視察</li> <li>・ 未来会議開催準備</li> </ul> <p>2 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 未来会議参加</li> </ul> <p>3 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山形新幹線延伸についての学習</li> <li>・ 市内の課題施設、現場視察(日向、市街地、八幡)</li> </ul> <p>4 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 女性活躍施策についての学習</li> <li>・ 市内の課題施設、現場視察(松山、平田)</li> </ul> <p>5 日目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住・交流政策についての学習</li> <li>・ 今回の実習のまとめ</li> </ul>
学び・気づき (300 字程度)	<p>わたしは今回のインターンシップで政策推進課の仕事がどういうものなのか知ることができました。計画書には「説明力」を身につけたいと書きましたが、政策問題について論理的に話すことができず、もう少し知識を身につけるべきだと痛感しました。毎日酒田市内を巡回視察して、その地域が抱える問題について話し合いました。また政策推進課の仕事をしている様子を見学することができました。土曜の未来会議に参加し、市民の生の声が聞けて、大変貴重な体験を過ごしました。わたしを指導して下さった松永さんも含め、様々なひとに助けられました。</p>
今後に向けた 抱負 (200 字程度)	<p>自分に足りないスキルは知識と話す力であることに気づきました。急に話をふられたときに、自分の考えを頭の中でまとめることができず、上手く話せなかったので、積極的に人との交流を深めることが今後の自分の課題だと思いました。また話す内容を深めるためにも知識が必要だと感じたので、これからは勉学に励んでいきたいと思いました。</p>

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>インターンをして気づいたことは、職員の方々がいきいきと仕事をしていることです。少子高齢化や過疎化という難題に対して積極的に取り組もうという姿勢がみえ、すごいとおもいました。だいたい月一回の頻度で様々な課の職員達が同じテーブルに囲みながらお昼御飯を食べるきまりがあり、そこで様々な職員の悩みを聞くことが出来ました。この食事のきまりによって、課のトラブルを他の課の職員が聞くことで、その他の職員が解決方法を知っているのならば、トラブル解決になるきっかけづくりになるのかもしれないと考えました。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	<p>未来会議で使用した机の写真です。</p> 